

AIFA 第22回 JA 全農杯全国小学生選抜サッカー大会 2023
U-11 東三河地区大会 要項



1. 主 催 (公財) 愛知県サッカー協会
2. 主 管 (公財) 愛知県サッカー協会 東三河地区協会 4種委員会
3. 後 援 愛知県教育委員会
4. 協 力 (株)モルテン

5. 期日および会場

- 2023年4月 8日(土) 予選リーグ (豊川市サッカー場)
2023年4月 15日(土) 予選リーグ (蒲郡市海陽多目的広場 A)
2023年4月 22日(土) 予選リーグ (豊川市サッカー場)
2023年4月 23日(日) 予選リーグ (豊川市陸上競技場)
2023年5月 7日(日) 決勝トーナメント1・2回戦 (豊橋市かもめ広場)
2023年5月 14日(日) 準決勝・決勝 (豊橋市かもめ広場)

注意1) 本大会の上位2チームが

AIFA 第22回 JA 全農杯全国小学生選抜サッカー大会 2023 へ参加する。

- 2023年6月11日(日) (松屋地所 FF)
2023年6月18日(日) (龍北総合運動公園 サッカー・ラグビー場)

※3/2時点でAIFA・4種委員会より正式発表されていないため県大会日程は確定ではありません。

注意2) 大会期間中の学校行事による日程調整は、大会本部としても最大限行なうが

各チーム試合可能競技者数が揃う場合は試合を行なう可能性があります。

大会期間中の学校行事は、エントリー締切までに小学校名・選手名・学校行事名を
浦野競技委員長に連絡すること。

6. 参加資格

- ①2023年度(公財)愛知県サッカー協会に登録チーム及び選手で5年生以下・3年生以上の者。
- ②複数チームの申込可。その場合はエントリー用紙を複写し作成する。
- ③複数チームで申込む場合は、チーム名にA・B・C……と表記する。
A・B・Cによるチーム構成に関して大会本部は関知しない。
- ④複数チームで申込む場合は、監督・帯同審判を兼ねることはできない(コーチは重複可)。
ただし、当日の運営に支障をきたさない場合は、帯同審判を兼ねることも可とする。
※例:Aチームにて監督登録した指導者は、Bチームの監督およびコーチの登録は出来ない。
- ⑤大会参加者は必ずスポーツ安全保険等に加入しておく。加入のない者は参加できない。
- ⑥チーム及び選手はエントリー表提出時にWeb申請済で3月中支払完了(都道府県承認後の
登録費支払い完了…承認済・最終承認)していることとする。

- ⑦各チームの登録選手は原則として JFA 発行の選手証(2023 年度登録版) 又は 選手登録一覧表 (申込チーム毎のエントリー表記載の選手のみが印刷されている事) を持参すること。
(スマートフォンやタブレット、モバイル PC 等の電子デバイスなどで提示は不可。)
※「選手証」・「選手登録一覧表」とは JFA の WEB 登録システム「KICOFF」から出力した 選手証・選手登録一覧表を印刷したものを示す。
ただし、写真貼付け(アップロード、写真の 3/4 位の大きさで顔が映っている位が望ましい) により顔の認識が出来るものであること。
- ⑧新型コロナウイルス感染予防について、別紙の【健康チェックシート・個人用】により選手 コーチ・スタッフの健康状態をチームで確認し、大会当日には【健康チェックシート・まとめ】 を大会本部に提出すること。少しでも体調に異変のある選手は無理に参加させないこと。

7. 大会形式

①試合時間は 40 分 (前後半 20 分) とする。

②予選リーグ方式を採用

(勝ち○=4 引分 PK 勝ち△=2 引分 PK 負け▲=1 負け●=0)

予選リーグ・決勝トーナメントで同点の場合は PK 戦を行う。

準決勝戦(代表決定戦)において同点の場合は、5 分・5 分の延長戦を行なう。

それでも決しない場合はペナルティーマークからのキック (3 名) により決定する。

ペナルティーマークからのキック (3 名) で決しない場合は、サドンデスで決定する。

注意 3) 試合終了し、ペナルティーマークからのキックを行なう前に、一方のチーム競技者が 相手チームより多い場合、競技者の多いチームは相手競技者数と等しくなるように 競技者数を減らさなければならない。チームの監督は、除外する競技者の背番号を主審 に通知しなければならない。これによって、除外された競技者はペナルティーマークから のキックに参加することはできない。

注意 4) ペナルティーマークからのキック時に試合終了時のフィールドプレーヤーが ゴールキーパーを行なう場合のゴールキーパーユニフォーム (上着のみ) は 【出場選手の登録番号以外でも可とする。また、エントリー表 に未登録の番号でも可と する。】を着用しなければならない。

交代したゴールキーパーは登録された選手番号のフィールドプレーヤーユニフォーム (上着のみ) を着用しなければならない。

8. 競技規則

本大会競技規則は IFAB によって制定されたサッカー競技規則 2022/23 年及び

(公財) 日本サッカー協会 8 人制サッカー競技規則に準ずる。

ただし、上記競技規則に準じていない項目に関しては、本大会要項にて明記する。

かつ本大会要項の「22. 最終判断および決定」に準ずる。

9. 競技時間

①試合時間は前・後半とも 20 分間とし、ハーフタイム (前半終了の笛から後半開始まで) は 10 分 以内とする。

②規定の試合時間内に勝敗が決しない場合、ペナルティーマークからのキックにより勝者となるチームを決定する。

ただし準決勝戦(代表決定戦)は前・後半5分ずつの延長戦を行い、なお決しない場合はペナルティーマークからのキックにより勝者となるチームを決定する。

延長戦はハーフタイムを設けず、コートチェンジのみ行なう。

③延長戦に入る前のインターバルは5分、ペナルティーマークからのキックに入る前のインターバルは3分とする。

10. 競技者数

①試合登録選手は最大16名とし選手交替は8名(自由な交替を採用)までとする。

②チームの競技者のうち1名はゴールキーパーとする。

③本大会において試合開始の最低競技者数は6名(GKを含む)とする。満たない場合は不戦敗とする。

不戦敗は、同グループ内の最高得点差とする。

④上記③において対戦相手は、競技者数を合わせる必要はない。

⑤最低競技者数6名(GK含む)に満たない場合は、不戦敗とする。試合中の怪我等で6名に満たなくなった場合も没収試合とし、不戦敗とする。

⑥エントリー時の選手登録人数は8名以上でなければならない。

11-1. 競技者の用具

①ユニフォームについては正副2着4色(シャツ・ショーツ・ソックス、フィールドプレーヤー・ゴールキーパー)をエントリー表に記載し各試合必ず携行すること。試合は参加申込時に登録されたユニフォームを使用することを原則とする。

正副の4色については明確に異なる色とし、同色の使用は避けること。

②チームのユニフォーム(ゴールキーパーのユニフォームを含む)のうちシャツの色彩は、審判員が通常着用する黒色と明確に判別し得るものでなければならない。

③新規選手等により同デザインのユニフォームが廃止されている場合は、類似デザインの同色は可とする。

上記③は、事前に浦野競技委員長に連絡し監督会議及び抽選会に旧デザイン・新デザインを持参し承認を得たものに限る。

④アンダーシャツ及びアンダーショーツタイツの色は問わない。チーム内で同色のものを着用する。GKについては、GKユニフォームの袖またはパンツと同色のものの着用も可とする。

(チーム内でアンダーシャツ・アンダーショーツ及びタイツの着用・未着用の混在も可とする。)

⑤GKで出場する選手は、GKユニフォームのシャツを必ず着用すること。ショーツおよびソックスについては、FP用・GK用いずれの着用も認める。

⑥GKの選手番号については、出場選手の登録番号以外でも可とする。また、エントリー表に未登録の番号でも可とする。ただし、選手交代時に補助審に氏名および登録番号の確認を受けること。

(例えば、選手番号「1」のGKユニフォームを他の選手番号の選手が着用して出場しても良い。)

- ⑦ GK から交代した選手が FP として出場する場合は、登録した選手番号の付いたユニフォームを着用すること。(GK の選手番号と FP の選手番号が被ることも可とする。)
- ⑧ FP 用シャツの前面・背面には、参加申込の際に登録した選手番号を付けること。
- ⑨ GK 用シャツについては、登録した選手番号または未登録の番号でも可とする。
- ⑩ 選手番号については、参加選手ごとに大会に登録されたものを使用する。
- ⑪ユニフォームの色、選手番号の参加申込締め切り以後の変更は認めない。

【※選手番号：通称「背番号」のこと】

11-2 競技者の用具（その他）

- ① すべての装身具（ネックレス、指輪、ブレスレット、イヤリング、皮革でできたバンド、ゴムで出来たバンドなど）は禁止されており、外さなければならない。
※長髪な選手が髪を後ろで束ねるためのヘアゴムやゴム製ヘアバンドは可とする。
装身具をテープで覆うことは、認められない。
ヘッドギア、フェイスマスク、また膝や腕のプロテクターなど危険でない保護用具で、柔らかく、軽いパッドが入った材質でできているものは、ゴールキーパーの帽子やスポーツめがね(フレームが柔らかい素材で出来た物)と同様に認められる。
- ② 選手の靴は、サッカーシューズもしくはトレーニングシューズを着用とする。
- ③ 選手は、すね当てを着用すること。
- ③ ソックスにテープまたはその他の材料のものを貼り付ける、または外部に着用する場合、ソックスと同色でなくてもよい。

12. 交代手続き

- ①交代して退く競技者は、交代ゾーンからフィールドの外に出る。
- ②交代要員は、交代ゾーンからフィールドに入り競技者となる。
必ず退く競技者がフィールドの外に出てから、交代要員はフィールドに入る。
- ③交代は、ボールがインプレー・アウトオブプレーにかかわらず行なうことができる。
- ④交代は、主審・補助審判の承認を得る必要はない。
- ⑤ゴールキーパーは、事前に主審に通知した上でボールがアウトオブプレーの時に入れ替わることができる。

注意 5) 交代で退く競技者が負傷している場合は、主審の承認を得た上でフィールドのどこからでも離れてもよい。

13. 負傷者への対応

- ①主審が認めた場合のみ、最大 2 名のチームスタッフがピッチへの入場を許可される。
- ②負傷者への対応・ベンチコントロールが同時に発生するため、チームスタッフが最低 2 名ベンチ入りすることが望ましい。
チームスタッフのベンチ入りが 1 名の場合は、負傷者への対応を優先すること。

14. テクニカルエリアおよびベンチ

- ①便宜的にテクニカルエリアを設置することとする。

- ②ベンチには原則として監督 1 名、コーチ 2 名、控え選手 8 名のみ入ることができる。控え選手は、ビブス（自チームフィールドプレーヤーユニホームシャツと異なる色、色は揃っていない可）または練習着等（自チームフィールドプレーヤーユニホームシャツおよび対戦相手チームフィールドプレーヤーユニホームシャツのどちらとも異なる色）を着用すること。
- ③監督もしくはコーチのいずれか 1 名が、その都度、戦略的指示を伝えることができる。
- ④子どもたちへの大会参加を配慮し、ベンチ入りは登録上限の 16 名を超えて 23 名まで可能とするが、登録選手（16 名）以外は出場できない。
上記の場合には、事前に浦野競技委員長に連絡し参加申込締切りまでに 23 名用の エントリー表を提出すること。
- ⑤必ず指導者ライセンス（JFA 認定 D 級ライセンス以上）保有者がベンチ入りすること。
WEB にてライセンス証（顔写真付き）を作成（プリントアウト）し大会本部に提示をすること（携帯電話やタブレットの電子デバイスなどで提示も可とする）。

15. 試合球

対戦チーム持参による 4 号球（空気圧は、0.6～1.1 気圧）を使用する。

16. 審判員

- ①1 人の主審と補助審判が指名される。
 - ②4 級以上の有資格者が行うこととする。審判員は WEB にて審判証（顔写真付き）を作成（プリントアウト）し大会本部に提示をすること（携帯電話やタブレットの電子デバイスなどで提示も可とする）。
 - ③審判割り振りは対戦表にて掲載する。
 - ④審判服は黒色を着用し、資格者証（ワッペン）を胸に表示すること。
 - ⑤靴はサッカーシューズもしくはトレーニングシューズを履くこと。
 - ⑥装身具については、「11-2 競技者の用具（その他）①項」と同様とする。
- 注意 6）各チーム原則として 2 名の審判員（有資格者）を帯同させること。

ただし、大会スケジュール確定後、チームによっては 1 名の帯同審判でも可能な場合はこの限りではない。

注意 7）主審・補助審判は、試合開始前に競技者全員のチェック（靴・すね当て・名前・選手番号）を行なう。

17. 警告退場

- ①競技者が退場を命じられた場合は、その競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充することができる。
- ②主審は競技者が補充されようとしている間は、試合を停止する。
- ③本大会において退場を命じられた競技者・指導者は、本大会の次の 1 試合に出場できない。
- ④本大会の異なる試合において警告を累計 2 回受けた競技者・指導者は、本大会の次の 1 試合に出場できない。

注意 8）退場命じられた競技者・指導者は、競技のフィールド周辺およびテクニカルエリア周辺から離れなければならない。

⑤本大会で受けた警告退場については、上位大会へ持ち越しとなる。

18. 懲罰

①本大会は、大会規律委員会を設ける。

②本大会規律委員会の委員長は東三河地区協会 4 種委員長とし、委員の任命については 4 種委員長が決定する。

③本大会期間中に警告を 2 回受けた者は、次の 1 試合に出場できない。

④本大会に於いて退場を命じられた選手は、自動的に次の 1 試合に出場できない。

⑤帯同審判員がない場合は規律委員会の審議対象となる。

⑥指導者ライセンス（JFA 認定 D 級ライセンス以上）保有者がベンチ入りしない場合は、不戦敗とし規律委員会の審議対象となる。

試合中の退席等により指導者ライセンス（JFA 認定 D 級ライセンス以上）保有者が不在になった場合は、規律委員会の審議対象となるが試合は続行・成立するものとする。

⑦いかなる不正行為も規律委員会の審議対象となる。

⑧本大会要項に記載事項のない懲罰に関する事項は、大会規律委員会にて決定する。

補足) 基本的な考え方として、選手が受ける懲罰はゲーム中の警告・退場であり、チーム運営等にかかる懲罰に関してはチーム代表者もしくはチームスタッフが負うべきであり、そのことによって「子どもたちのサッカーをする権利および機会」を奪うものではない。

19. エントリー表送付先

①送付先：東三河地区協会 4 種委員会 浦野競技委員長までメールで提出すること。

②提出期限：3 月 18 日（土）19：00 必着。それ以降のエントリーは受け付けない。

※期限間際での再案内はいたしませんので、期限に余裕を持ってご提出願います。

③エントリー表の書式は規定の書式（Excel 版）で提出すること。書式の変更不可。

④ 提出期限後のエントリー表の変更・差替えについては、原則認めない。

（「登録申請中」と記載の場合に限り、登録が完了した時点で選手登録番号記載のエントリー表との差替えは可とする。）

④その他、本大会な不明な点については、浦野競技委員長に連絡すること。

20 監督会議及び抽選会

① 日 時：4 月 1 日（土） 18：30 開始予定

（同日の 19：30～OKAYA CUP 監督会議を開催予定）

② 場 所：ライフポートとよはし 教育会館・第 2 研修室（豊橋市神野ふ頭町 3-22）

③各チームから 1 名は必ず出席する。1 名で複数チームの抽選をすることはできない。

④父母の代理出席は認めない。（大会組合せ、会場・審判上の諸注意等を行うため。）

⑤保護者の代理出席しか都合のつかない場合は、事前に権田委員長に連絡をすること。

⑥出席者は新型コロナウイルス感染防止の為、必ずマスクを着用すること。

⑦コロナウィルス感染拡大により、WEB 会議や代理抽選に変更する場合があります。

21. 大会参加料

1 チーム 3,000 円（監督会議時に徴収します。）

22. 最終判断および決定

本大会の実施に関して、競技規則および本大会要項に定めのない事項については、東三河地区協会 4 種委員会が最終的に判断・決定するものとする。

※大会期間中に大会関係者（参加チーム含む）よりコロナウイルス感染が確認された場合の対応については別途連絡する。

23. 連絡先

- ① 権田委員長 tel : 090-2571-5012 mail : t.gonda-503@outlook.jp
- ② 浦野競技委員長 tel : 090-4790-7366 mail : mu6412@ion.ocn.ne.jp
- ③ 夏目審判委員長 tel : 090-3253-5366 mail : hide-11.15@xg7.so-net.ne.jp

注意 9) 上記①②③は、個人情報のため取り扱いにご注意下さい。

24. 大会運営時の注意事項

<大会本部への提出・確認に関して>

- ①選手は事前にツメを短くしてください。
- ②試合開始 30 分前までに選手およびコーチは大会本部にて選手証、コーチ資格証およびサブユニフォームの確認をしてもらうようにしてください。
- ③試合開始 30 分前までにエントリー表（スターティングメンバー及び着用するユニフォーム色に ○ ・ 試合会場及び対戦相手を記載する）1 部大会本部に提出して下さい。

注意 10) サブユニフォームは色の確認をしますので、番号の指定はありません。

FP および GK の両方のサブユニフォームを持参して下さい。

<審判に関して>

- ① 審判員の方は、試合前に大会本部にて該当試合のチーム確認及びエントリー表の受け取りを行なって下さい。
- ② 審判員の方は、試合開始 15 分前までに大会本部にて審判証を提示して下さい。
- ③ 試合終了後は速やかに、大会本部に試合結果（スコア・得点時間・得点者・警告者等）を報告して下さい。
- ④ 大会毎に会場での審判打合せがある場合は、審判を行なう方が必ず出席して下さい。

<ユニフォームの選択に関して>

- ① 組み合わせ表の左側(もしくは上側)チームがメインユニフォームを着用することを原則とします。
- ② 対戦チームの着用する色が重複しなければ、①の限りではありません。
- ③ 上記②において、審判がユニフォームの色の判別が難しいと判断した場合は審判の指示に従ってください。

注意 11) 事前に対戦チーム同士で協議を行なって下さい。

<試合前・試合中のアップに関して>

- ①試合前および試合中のアップは、試合の妨げにならない場所にてお願いいたします。
(指導者は、試合中のコート内にボールが入らない様に細心の注意をお願いいたします。)
- ② 試合と試合のインターバルは、次の試合のチームのみピッチ内にてアップ可能ですが、キックオフの遅延にならないように審判の指示に従い、速やかに準備・整列をお願いいたします。
(第一試合のチームは、kickoff の 15 分前よりピッチ内でのアップ可能。)
- ③ハーフタイム時のアップは試合中のチームの(控え)選手のみピッチ内にてボールを使用可能ですが、後半戦開始の妨げにならないように行なって下さい。
- ④ 試合中、控え選手のベンチサイドでのアップは、ボール使用不可といたします。

注意 12) アップ場所が指定されている場合は、厳守して下さい。

<選手の飲水について>

- ①ピッチの外側に飲料水を適宜置くことを、可とします。
- ②WBGT 値により飲水タイムを適用する場合がありますが、飲水タイム(1分以内)に選手がタッチラインの外側に出ることなく素早く飲水できるような準備に努めて下さい。
選手が素早く飲水するためにタッチラインの外側に出た方が早い状況もありますので、臨機応変に対応して下さい。
- ③上記②の飲水タイムおよびクーリングブレイク適用時においても、選手がプレー中に必要な場合は、飲水を可とします。

<保護者に関して>

- ①保護者の応援は節度ある応援に努めるよう各チームのご指導をお願いいたします。
※コロナ過の観戦については別紙の【2023年度版 保護者観戦時の注意事項】も遵守願います。
- ②保護者の応援に関しては、各チームの管理下であり大会本部は指導・注意する立場にありません。
ただし、あまりにもモラルなき応援の場合は、しかるべき対応を取る場合がある事をご理解ください。
- ③保護者の言動については、各チームが責任を持って指導・管理を行なって下さい。
トラブルが発生した場合、協会として事実確認等の聞き取りは実施しますが、トラブル自体の解決は当事者同士となりますので、予めご了承下さい。

<選手へのコーチングに関して>

- ①テクニカルエリア(便宜的)にてコーチが戦略的指示をすることは認められていますが、選手に対する暴言(=言葉の暴力)は認められていませんので、ご注意ください。JFAでは暴力根絶を掲げて活動をしていますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

<選手の移籍に関して>

日本サッカー協会は「アマチュア選手の移籍に関する手続きの理解、促進および大会要項等の出場資格の適正化に向けて」を報告し、基本的な考え方として「移籍した選手は協会が移籍を承諾した日から公式試合に出場する権利を有する。」と明記してあります。

よって、本大会においても選手の移籍期間に何ら制限を加えるものではありませんが、常識として参加申込時に本大会参加予定チームへの移籍が完了していることとします。

また、移籍元および移籍先のチーム代表者は、移籍がスムーズに行われるように手続きをしてください。

《重要事項》

個人情報保護法に伴い、「エントリー表」及び「新聞紙上」への選手個人の氏名・登録番号(エントリー表のみ)・背番号・ポジション等の掲載について、必ず選手本人と保護者の承諾をとってください。

承諾が得られない場合は、その旨をエントリー表に記入し、別紙にて報告してください。

なお、本エントリー表は、大会終了後、4種委員会にて責任を持って処分いたします。ご協力の程よろしくお願いいたします。

以 上